

たんちょう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.100
2016.1

くしろ丹頂

新春



朝陽に映るタンチョウ

CONTENTS

● 新年のごあいさつ

代表理事組合長 武藤 清隆	1
北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章	2
代表理事専務 對木 範營	3
釧路丹頂農業協同組合酪農振興会 会長 折笠 文則	
釧路丹頂農業協同組合青年部 部長 石黒 隆行	
釧路丹頂農業協同組合女性部 部長 吉田 鈴子	4

● 組合員組織	5・6
---------	-----

● 年始日程表	7
---------	---

参	監	代								理	常	代	代	会
		表								務	務	表	表	長
		監								理	理	理	理	事
事	事	事								事	事	務	長	事
白	澁	富	村	五	成	藤	高	田	大	松	梶	對	武	瀧
他	木	谷	坂	上	十	田	澤	橋	井	坂	下	原	木	藤
職	良	三	泰	政	純	常	達	博	博	英	範	清	義	澤
員	一	雄	博	春	夫	敏	哉	行	雄	行	文	勉	光	譽
同														隆

謹んで新春の
お慶びを申し上げます



年頭にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事組合長

武藤 清隆



組合員並びに役職員の皆様、新年明けましておめでとう御座います。希望に満ちた平成二十八年の新春を、御家族お揃いで迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。

昨年は、羊年という事で平穏な一年である事を祈りつつ一年のスタートを迎えましたが、その願いも叶わず農協にとりましても、組合員の皆様にとりましても、まさに激動の一年ではなかったかと思っています。

まずは、異常気象に振り回された一年でありました。春先の豪雪により生産施設に甚大な被害を被った他、秋には大型台風、爆弾低気圧によって収穫目前のコーンの倒伏や施設にも大きな被害を受ける等、まさに自然の驚異の前に人間の無力さを感じる年となっていました。異常気象との言われ方をしますが、ここ数年を振り返ってみますと、昨年の様な状況が

常態化している現状にあります。今後においては、経営者個々の判断により、リスク管理を徹底する必要がありますと考えます。

そうした中での生産状況は、生乳生産におきましては、これまでの組合員の努力、農協の各種対策の効果が現れ、大きな成果を挙げた事が出来ました。目標としていました10万トン越えを達成できる見込みとなり、併せて組合員経済も大きく改善し、基盤弱体化と言われて来た昨今ではありましたが、ここへ来て将来に明るさを見出せる状況になって参りました。ここはもうひと頑張りして、特に経済基盤の強化に取り組む必要を感じています。

又、実に60年振りと云われます農協改革法案の成立、あるいはTPPの大筋合意というまさに我々にとって大転換期とも言える大きな渦に巻き込まれた一年でもありました。

特にTPP大筋合意であります

が、この事は五年前民主党政権時代に突如菅元総理が声高に宣言してその幕を開けました。その後、自民党政権が誕生し、その勢いはさらに加速したところです。国民に対し何ら説明なくこの様な判断をした事により本来世論を二分する大論争になるはずが、いつの間にかTPP＝農業問題にすり替えられ、政府が主張する国益に反対する農業団体は抵抗勢力とのレッテルを貼られてしまいました。そしてその事が、昨年の8月に農協改革法案の成立に進んだことは火を見るより明らかです。我々は、何も特別な主張をするつもりはありません。只々与えられた環境の中で、国民に安心安全な食料を安定的に供給する事と、国土保全、水の涵養という多面的機能を果たしつつ、子供を生み育てる事が普通に出来、そしてその事が未来永劫続けられる事を願っているにもかかわらず、その事すら出来づらい世の中に変化している事を憂うばかりです。

政府が目指す日本の将来像とは。力に対しては力で、経済最優先の新自由主義、強い者だけが生き残れば良い、そんな社会なんですよ。

うか。

この考え方は協同組合という組織の中では、全く受け入れられない事です。協同組合とはその根底には、相互扶助、助け合いの精神から成り立つものです。今政府が主張する一億総活躍社会、地方創生推進こそ協同組合の精神無くして成し遂げる事は出来ないものと考えます。

釧路丹頂農協としましては、今後におきましても基本理念にありまます様に、組合員目線を持ちつつ組合員経済、地域社会への貢献を通じて、自主・自立・民主的なJA経営の確立を目指して邁進する覚悟であります。

今年は「猿」年という事で、何事においても「難が去る」事を祈念しつつ共々柔軟な発想を持ち、「知恵」を出しながら前向きに取り組む事が出来る一年になればと思っています。

農協として今年もあらゆる手段を講じながら、更なる生産性向上と可処分所得増に向け役職員一同全力で対応して参ります。

結びになりますが、今年一年が皆様にとりまして平安で、更なる飛躍の年になります様、御祈念申し上げます。



年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会



会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年の北海道農業は、一部地域において暴風雨被害が発生するなどの影響がありましたが、全体的にはおおむね順調な作柄となりました。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年の十一月十一日に、組合員やJA役職員等、関係者の方々の参加のもと、第28回JA北海道大会が開催されたところです。

「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」をメインテーマとして、向こう三か年にわたるJAグループ北海道の対応方針を確認いただきま

した。

組合員・JA・連合会・中央会が、各役割を再確認した中で、JAグループ北海道の英知を結集し、基本目標の達成に向け取り組んでいくとともに、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指すこととしております。

関係各位の特段なるご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

平成二十七年は、農協改革法案の成立、TPP交渉の大筋合意など、我が国の農業・JAにとって極めて大きな情勢変化があった一年でした。

農協改革については、その主要な目的でもある法改正と農業所得向上の関連性などについて、いまだに十分な理解が進まない中、准組合員制度のあり方や監査の仕組みなどの重要案件が今後の検討課題となっており、改めて地域農業

の振興や農協経営への影響がないよう、政府に対する働きかけを含め、関連する取組みを進めていく必要があります。

一方、TPP交渉に関しては、交渉参加12か国の閣僚会合を経て、昨年の十月五日に大筋合意がなされましたが、守秘義務を盾に交渉に関する情報開示や国民的議論がないままに、大筋合意という結果に至ったことに対して、強い憤りを覚えるところでです。

今後、通常国会においてTPP交渉に係る国会審議がなされる予定ですが、改めて、政府並びに各国会議員に対して、今回の合意内容の全容と影響、さらには国会決議との整合性について十分な説明責任を果たすとともに、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応がなされるよう強く求めていく必要があります。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

我々農業者・JAグループは、その責任感と自負心のもと、改めて協同の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていくとともに、農業・JAに対する幅広い理解と共感を得る取組みを積極的に進めながら、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに発展させ、後世に継承するよう、ともに頑張ろうではありませんか。

今年の干支は申年さるです。

一説には、申は、伸ばすという意味があり、「草木が十分に伸び、実が成熟していく時期」を表しているとのことあります。

今年は、この申年にあやかり、天候に恵まれ実り多い充実した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。

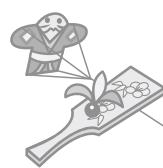


新年にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事専務

對本 範登



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、平成二十八年の輝かしい新年をご健勝で迎えの事とお慶び申し上げます。日頃より組合員の皆様及び関係機関の皆様におかれましては、特段のご指導、ご協力を頂いております事に、心から感謝とお礼を申し上げます。

昨今の日本経済は、何と言ってもT P Pの大筋合意、農協改革法案の成立という我が国の農業、J Aに係る極めて大きな情勢変化があったところです。このような中T P P交渉については、交渉に関する情報開示も極めて不十分であり、国民的議論もないままに大筋合意という結果に至った事に対し強い憤りを感じるところであります。一方農協改革については、法改正と農業所得の向上に関しては、まだに納得のいく説明なり理解が

進まない中で准組合員制度のあり方や、監査の仕組みなどの重要案件について我々J Aグループは、自己改革、諸問題等しつかりとした方針を示し、地域農業の振興や農協運営への影響がないよう強く政府に訴えていかなければと考えます。

さてJ Aにおいては、三月上旬の大雪、十月上旬の爆弾低気圧、台風の影響で今までにない数多くの農場の施設等が倒壊などの被害にあわれ、組合員の皆様には改めてお見舞いを申し上げる所であります。

生乳生産状況は、「第八期生乳生産安定対策」の一年延長に伴う増産基調のもと、数戸の搾乳農家中止等がありました。一昨年の秋頃より回復の兆しが見えはじめ組合員の努力により全体では今までにない伸び率となりました。

生乳生産の基盤となる粗飼料に

ついては、一年を通してまずまずの天候に恵まれ、概ね良質の粗飼料が確保された事と思いますが、デントコーンにおいては倒伏被害による品質の低下が心配されます。今後も増産基調を維持し続けて頂きたいと願う所です。

一方、組合員の農家経済状況は、プール乳価で三円六十銭程の値上げ、個体販売価格（乳牛、牛肉、馬等）についても、高値傾向で全体的には良好に推移されました。

又、十年振りに北海道で開催された全国共進会において敬和ファームの出品牛が名誉賞を受賞され、家族皆様はもとよりJ Aとしても慶びを分かち合うと共に、日々の努力に心から敬意を表する所であります。

新年度の営農計画ではなかなか先行きが見通せない状況ですが、二十八年度より始まる「北海道生乳基盤・安定供給強化対策」の増産対策を基本とし、「土づくり・草づくり・牛づくり」の計画的な再構築が図れる様、畜産クラスター事業の継続的な取り組み、各種補助事業、J A助成事業等を含め、地域の行政・関係機関等と連携し、

畜産農家の生産性と収益性の向上を目指して参りたいと考えております。併せて新規就農者を含む担い手後継者の育成・農地の維持確保・基盤整備等についても引き続き検討して参ります。

厳しい状況の中ではありますが、昨年開催された、三ヶ年に一度のJ A北海道大会で決議された『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の推進を通じて、更には平成三十年までの「地域農業振興計画」「J A中期計画」の計画達成のため取り組んで参ります。

今後共、J Aが組合員の期待に応え、農業経営の安定と向上を目指し、役職員一丸となり組合員の皆様と決意を新たに参る所存でありまして、引き続きご指導・ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年がご健勝でご多幸の一年となります様、心からご祈念申し上げ新年の挨拶と致します。



新年のご挨拶

釧路丹頂農業協同組合酪農振興会

会長 折笠 文則

新年あけましておめでとうございます。

酪農振興会の会員の皆様にはご家族揃って輝かしい平成二十八年を迎えられた事と思います。

昨年は、当振興会の事業に多くの皆様にご参加頂き、誠にありがとうございました。

お陰様で、十月に音別で開催されたパークゴルフ大会では、世代を超えて参加者相互の距離感が、年々近くなっていると感じられましたし、十一月に開催された搾乳ロボットを中心とした視察研修会では、地域の課題や今後の取り組み等の情報交換ができ、有意義な時間を過ごす事ができました。

さて、私達を取り巻く環境は、昨年のTPPの大筋合意により、新たなステージを迎えようとしています。酪農・畜産は成長産業化を一層進めるために、今後国際環境の下で競争力を強化させる事が大きな課題であります。競争力を強化させるためには、基本技術の確立も必要です。酪農振興会では二月に『酪農祭』を開催し、酪農の基本技術であります「繁殖」に関する講演と懇親会を予定しております。懇親会の中で平成二十七年の良質乳出荷農場の表彰式も予定しておりますので、大勢の参加をお待ちしております。

本年も酪農振興会の事業を通して会員相互の良い関係が益々広がり、強い結び付きになるよう事業を進めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



新年のご挨拶

釧路丹頂農業協同組合青年部

部長 石黒 隆行

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。又、旧年中におかれましては、青年部活動に對しまして、組合員の皆様とご家族、関係機関の方々にはご理解とご協力を頂きましたことを深くお礼申し上げます。

昨年は、部員皆様の協力により、計画しておりました事業も順調に進めることができました。例年行っておりますイオン釧路昭和店での牛乳乳製品消費拡大運動では、生産者と消費者との繋がりを大切にし、安心安全な牛乳を生産することで「食」の大切さ、「命」の大切さを伝える活動を行って参りました。又、視察研修では視野を広げ、交流会では部員同士の親交を深めてきました。TPPが大筋合意となり私達を取り巻く環境は、年々厳しくなっている中ではありますが、様々なところで得た知識を基に知恵を出し合い、厳しい時代を乗り越えて行ける青年部にしていきたいと考えております。

最後になりますが、本年も組合員とご家族、そして関係機関の皆様方には、ご指導とご協力の程をお願い申し上げ、今年一年皆様方のご健康とご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



新年にあたり

釧路丹頂農業協同組合女性部

部長 吉田 鈴子

新年明けましておめでとうございます。御家族お揃いで新年を迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。旧年中は女性部活動に對しまして、特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、六月五日に音別支部で丹頂女性部交流会を開催し、普及センターによる講演、昼食会、ゲームと楽しく懇親を深めることができました。又、乳製品消費拡大運動では、イオン釧路昭和店にて消費者との交流を深め、「食の大切さ」を伝える活動を行って参りました。

女性部事業が、今日の農村女性の地位向上に重要な役割を果たし、「食と農」の魅力や地産地消の取り組みなど地域の仲間づくり、JAとの対談など活動を展開しながら「明日・輝くために」女性らしく活動をして参ります。最後になりますが、本年も関係機関の皆様方のご指導ご鞭撻の程賜りますようお願い申し上げます。今年一年皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

ＪＡくしろ丹頂組合員組織

あけましておめでとうございます。

釧路丹頂農協女性部

部長 吉田 鈴子

釧路丹頂農協青年部

部長 石黒 隆行

釧路丹頂農協酪農振興会

会長 折笠 文則

釧路丹頂和牛改良組合

組合長 成田 俊英

釧路丹頂農協馬事振興会

会長 江崎 勝三

釧路丹頂農協乳牛改良同志会

会長 瀧澤 一成

外国人研修生受入協議会

会長 松井 俊治

幌呂大型機械利用組合

組合長 大碓 晋二

鶴居営農組織代表者協議会

会長 千葉 喜好

鶴居村乳牛検定組合

組合長 松井 俊治



ＪＡくしろ丹頂組合員組織

本年もよろしくお願い申し上げます。

鶴居村酪農ヘルパー利用組合

組合長 高 橋 文 雄

白糠町乳牛検定組合

組合長 影 山 純

白糠町酪農ヘルパー利用組合

組合長 野 上 敏

音別町酪農ヘルパー利用組合

組合長 志 賀 忠 浩

白糠町野菜生産組合

組合長 細 谷 照 雄

白糠町農民組合

執行委員長 江 崎 照 夫

白糠町農村青少年クラブ

会 長 五十嵐 大地



JAくしろ丹頂 年始日程表

年月日	部門	各 地 区 の 事 務 所			販 売		家畜改良	生 乳	哺育育成	幌 呂
		管理・共済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白糠・音別	鶴居・幌呂 白糠・音別		センター	育成牧場
平成28年 1月1日(金)								通 常 業 務		
1月2日(土)							業務始め*			
1月3日(日)										
1月4日(月)			業務始め							
1月5日(火)				初生集荷・業務始め						
1月6日(水)		業務始め		業務始め				↓	↓	↓

年月日	部門	購買・鶴居			購買・幌呂			購買・白糠		購買・音別		
		生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
平成28年 1月1日(金)												
1月2日(土)								業務始め*				
1月3日(日)			業務始め			業務始め*						
1月4日(月)		業務始め						午後6時まで		業務始め 午後6時まで	業務始め	
1月5日(火)								午後6時まで		午後6時まで		
1月6日(水)				業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め

*午前中のみ営業となります。

営 業 日 休 業 日

1/6(水)は、全業務午後4時までの営業となります。
金融ATMは平常営業をしております。

・万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル (☎ 0120-258-931) に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

◆鶴居地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、田村課長 (090-7647-4585) に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、大松運輸 (57-8388)もしくはホクレン (岩谷職員 090-7642-0725) に連絡して下さい。

◆幌呂地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、泉課長(090-7055-1541)に連絡して下さい。
- ・給油スタンドに関することは、泉課長(090-7055-1541)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、全酪連釧路事務所 (岩崎職員 080-9020-3502) か (矢口購買課長 080-5471-3668) に連絡して下さい。

◆白糠地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、大石課長 (自宅 6-2734 携

帯090-1640-0376) に連絡して下さい。

- ・給油スタンドに関することは、給油所 (2-2084) に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸 (0154-57-2777)に連絡して下さい。

◆音別地区の皆様へ

- ・Aコープは1月4、5日は午後6時までの業務となります。
- ・生産資材に関することは、林課長 (6-2529) に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸 (0154-57-2777) に連絡して下さい。

◆人工授精業務、年始の対応について

- ・1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分 (厳守) 対応となりますので、よろしくお願い致します。

編 集 後 記
EDITOR'S NOTE

- ☐ 新年明けましておめでとうございます。現在、農業情勢は激動の時を迎えておりますが、今こそ英知を結集し、協同の力でこの難局をのりきる時だと強く感じております。
- ☐ 広報誌「たんちょう」も皆様方のご指導とご協力により、第100号を迎える事ができました。本年が皆様方にとりまして、実り多い年となりますよう心からご祈念申し上げます。

表 紙 の 絵

- ☐ 表紙の写真は、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリで撮ったタンチョウです。身を切るような極寒の中、日の出の光に照らされて輝く姿に、野生動物のたくましさを感じました。